

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 12 月 8 日作成)

小委員会名	昼光照明規準刊行小委員会		主 査 名：古賀靖子 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：岩田利枝 主 査 名：羽山広文
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・光環境運営委員会・昼光規準 WG で執筆を進めた昼光照明規準原案 (WD) を元に、日本建築学会環境基準：昼光照明規準を作成・出版する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：古賀靖子 (九州大学) 幹事：望月悦子 (千葉工業大学) 委員：伊藤大輔 (ものづくり大学/日本工業大学)、岩田利枝 (東海大学)、菊池卓郎 (竹中工務店)、原直也 (関西大学)、吉澤望 (東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2017 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. AIJ-ES003 「昼光照明規準・同解説」
講習会	1. 講習会「日本建築学会環境基準 昼光照明規準 (AIJES-L0003-2018)」 参加者数 72 名
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. パブリックコメント募集 (10 月 5 日～10 月 26 日) コメント無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 昼光照明規準の外部査読結果、および光環境運営委員会の査読意見に対応し、 FDS を加筆修正した。 2. 「昼光照明規準・同解説」を刊行し、2018 年 3 月 15 日に講習会を実施した。
委員会活動の問題点 ・課題	なし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>活動計画に従って、昼光照明規準のドラフトに関する外部査読意見、また、光環境運営委員会の査読意見にも対応してドラフトを加筆修正した。パブリックコメントを募集したが、特段意見がなかった。これより、昼光照明規準・同解説を出版した。</p> <p>「昼光照明規準・同解説」に関する講習会を2018年3月15日に開催し、建築学会環境規準の普及に務めた。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。